



PCSA経営相談室からのメッセージⅡ

経営者の皆様へ

米国発の金融危機が現実になろうとしています。そうした中で、昨今の我が国経済をとりまく環境は非常に厳しい状況下であり、新興の不動産企業をはじめとして、中小企業の資金ショートにより倒産が拡大するなど、ホール業界をとりまく金融環境はきわめて厳しいといえます。金融機関サイドはこれからも、業界にたいし、ますます厳しい選別を行うことは、間違いありません。

そこで、PCSA経営相談室として、経営者の皆様が金融機関との良好な関係を維持する為に、一つの参考資料として簡便に自社の営業状況と借入れ状況（有利子負債＋支払リース料）をベースに、自社が金融機関から見て、充分余裕のある状態にあるのかどうか自己診断し、現状を把握するための「簡便分析モデル」を作成しました。

「全社年間返済額（有利子負債＋支払リース料）簡便計算式モデル」

① 全社年間返済額（有利子負債＋支払リース料）

計算式 全社年間粗利額×15%＝年間返済額

② 個店別年間返済額（有利子負債＋支払リース料）

		300台	400台	500台	600台
台粗利 2,000円	年間粗利額(×350日)	2.1億	2.8億	3.5億	4.2億
	×15%	3,150万円	4,200万円	5,250万円	6,300万円
	借入期間5年間の総額	1.575億円	2.1億円	2.625億円	3.15億円
台粗利 2,500円	年間粗利額(×350日)	2.625億円	3.5億円	4.375億円	5.25億円
	×15%	3,938万円	5,250万円	6,562万円	7,875万円
	借入期間5年間の総額	1.969億円	2.625億円	3.2812億円	3.937億円
台粗利 3,000円	年間粗利額(×350日)	3.15億円	4.2億円	5.25億円	6.3億円
	×15%	4,725万円	6,300万円	7,875万円	9,450万円
	借入期間5年間の総額	2.362億円	3.15億円	3.937億円	4.725億円
台粗利 3,500円	年間粗利額(×350日)	3.675億円	4.9億円	6.125億円	7.35億円
	×15%	5,513万円	7,350万円	9,187万円	11,025万円
	借入期間5年間の総額	2.756億円	3.675億円	4.593億円	5.512億円
台粗利 4,000円	年間粗利額(×350日)	4.2億円	5.6億円	7.0億円	8.4億円
	×15%	6,300万円	8,400万円	10,500万円	12,600万円
	借入期間5年間の総額	3.15億円	4.2億円	5.25億円	6.3億円

③ 具体例

400台店舗が30店舗あり、平均粗利3,500円の場合

7,350万円×30店舗＝22.05億円

年間返済可能額は22.05億円

5年で返済計画の時の借入金総額は

22.05億円×5年＝110.25億円（3.675億円×30店舗）

以上の簡便モデルで自社の収入・支出の現状を常に把握し、健全な経営をすることを提言いたします。

また、あわせて昨年からは全国に広まっている低貸玉営業「1円パチンコ」の流れは、定着してきておりますが、当初の「顧客の立場にたって、新しいサービスを提供し、新しい顧客層を開拓するとのコンセプトの低貸玉営業」が、単なるブームとして、これまでと同様な画一営業に利用されている状況を憂慮します。折角の新しいパチンコ業界の潮流「低貸玉営業」を将来の業界のために大事に育てていきたいと願います。

以上

平成20年9月26日

有限責任中間法人パチンコ・チェーンストア協会
PCSA経営相談室長 牛島 憲明